

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福岡大学 工学部棟(仮称)	階数	地上6F地下1F
建設地	福岡県福岡市城南区七隈八丁目19	構造	S造
用途地域	第1種15m高度地区、第2種20m高度	平均居住人員	100 人
地域区分	7地域	年間使用時間	3,650 時間/年
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2016年6月22日
敷地面積	198,326 m ²	作成者	昭和設計
建築面積	1,624 m ²	確認日	2014年7月10日
延床面積	8,732 m ²	確認者	〇〇〇



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (92)

②建築物の取組み 84% (46)

③上記+②以外の 84%

④上記+ 84%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.3

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合 01-交流と創造の新たなイノベーション拠点 02-フレキシブルかつ環境にやさしい高機能施設 03-工学部の先進性をアピールするシンボル建築		その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 メカニカルバルコニーやルーバーによって日射を抑制している。 また、ヒカリニワによって明るい内部空間となっている。	Q2 サービス性能 建築物移動等円滑基準を満たすよう計画している。 2階~6階の階高を均等にして、設備や居室の更新を容易にしている。	Q3 室外環境(敷地内) キャンパスのメインストリートに対して植栽帯を設け、良好な景観を計画している。 メカニカルバルコニーに配置した室外機等は外から見えないように、目隠しルーバーを設けている。
LR1 エネルギー 建物外皮の熱負荷抑制に努めている。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材の使用や解体時の部材の再利用性向上に取り組んでいる。	LR3 敷地外環境 キャンパスに寄与した公共歩廊を設けている。 緑地帯を設け、良好な景観を形成している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される